

■設問数 78 本調査

SA：単数回答、MA：複数回答、LA：回答数限定質問、MT：表組み質問形式、FA：自由回答

QN○	設問項目	設問形式	設問文・選択肢	備考
78 本調査				
I. 経済の構造変化と生活・消費についてお伺いします。				
回答条件 本調査対象者全員（以下「全員」と記載）				
1	Q1	SA	あなたの就労状態は5年後どうなっていると予想しますか。	
		1	就労している	
		2	就労していない	
◆◆改ページ◆◆				
回答条件 全員				
1	Q2	SA	今後、あなたの賃金や世帯所得が増加した場合、主にどのように使いたいと思いますか。以下の中から一つ選んでください。	
		1	電気製品・自動車・衣服などモノの購入額を増やしたい	
		2	旅行・外食・娯楽などサービス支出額を増やしたい	
		3	貯金を増やしたい	
		4	わからない	
◆◆改ページ◆◆				
■東京オリンピック・パラリンピックについてお伺いします。				
回答条件 全員				
1	Q3-1	SA	あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの際、入場券を購入して競技の観戦に行こうと思っていますか。	
		1	是非行きたい	
		2	できれば行きたい	
		3	行こうと思っていない	
回答条件 全員				
1	Q3-2	SA	東京オリンピック・パラリンピック開催期間中、あなたご自身の消費支出（入場料への支出を含む）はどうかと思いますか。	
		1	入場券や関連するグッズの購入、観戦のための交通費などにより支出総額は増えると思う	
		2	オリンピックに関連しない支出を含めた全体としての支出総額は変わらないと思う	
		3	テレビやインターネットでの観戦により外出が減ることもあり、支出総額は減ると思う	
◆◆改ページ◆◆				
■あなたの世帯年収の見通しについてお伺いします。				
回答条件 全員				
1	Q4-1	SA	あなたの世帯年収（祝込み。金融資産からの収入や年金収入を含む総額）は5年後、現在に比べてどうなると予想しますか。①～③のうち該当するものを選んで上で、（ ）に予想する数字を記入してください。 （注：例えば8%程度増加と思われる場合、①を選んで（ ）に8と記入。）	
		1	現在より（ ）%増加	
		2	現在と同程度（0%の変化）	
		3	現在より（ ）%減少	
回答条件 全員				
1	Q4-2	SA	5年後の世帯年収は、実際には予想よりも高くなったり低くなったりするのが普通です。予想する数字の上下どれぐらいの範囲で考えると、あなたの予想が90%の確率で実現する（外れる確率が10%未満）と思いますか。 （注：例えば、5年後の世帯年収の予想が8%増加の場合、±5%程度の範囲で考えると90%の確率で実現する（3%～13%の範囲になる）とお考えなら、選択肢③の「±5%程度」をお選びください。また、世帯年収の予想が5%減少の場合、±10%程度の範囲で考えると90%の確率で実現する（10%減少～5%増加の範囲になる）とお考えなら、選択肢④の「±10%程度」をお選びください。）	
		1	±3%未満	
		2	±3%程度	
		3	±5%程度	
		4	±10%程度	
		5	±15%程度	
		6	±20%程度	
		7	±20%超	
◆◆改ページ◆◆				

■日本経済の先行き見通しについてお伺いします。

回答条件 全員

1	Q5-1	SA	日本のGDP（国内総生産）は5年後に現在と比べて何%増加又は減少すると思いますか。 ①～③のうち該当するものを選んで上で、（ ）に 予想する数字 を記入してください。 （注：例えば、5%程度増加と思われる場合、①を選んで（ ）に5と記入。）	
		1	現在より () %上昇	
		2	現在と同程度 (0%の変化)	
		3	現在より () %低下	

回答条件 全員

1	Q5-2	SA	その数字が90%の確率で実現すると思つ範囲は以下のどれに当てはまりますか。 （注：例えば、5年後のGDP（国内総生産）の予想が5%程度増加で、90%の確率で ±5%（10%上昇～現在と同程度（0%）） の範囲に収まると見込まれる場合、選択肢 ③の「 ±5%程度 」を選択してください。）	文言を修正。
		1	±3%未満	
		2	±3%程度	
		3	±5%程度	
		4	±10%程度	
		5	±15%程度	
		6	±20%程度	
		7	±20%超	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

1	Q6	SAMT	十年前と比べて以下に挙げるサービスの質はどうなったと感じますか。各サービスについて、① 向上した、②変わらない、③低下した、のうちいずれかをお選びください。	
			【質問項目】	
		1	小売店	
		2	飲食店	
		3	ホテル・旅館	
		4	交通機関	
		5	金融（銀行・保険など）	
		6	学校教育	
		7	医療	
		8	行政サービス	
			【選択肢】	
		1	向上した	
		2	変わらない	
		3	低下した	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

2	Q7	FAMT	飲食店、小売店、ガソリンスタンドなど、店員がサービスを行ってくれる店舗と「セルフ方式」の 店舗とがあります。他の条件が同じとした場合、セルフ方式は何%程度安い価格設定が適 当だと思いますか。（ ）に 数字 をお書きください。	
		1	飲食店 () %程度	
		2	小売店 () %程度	
		3	ガソリンスタンド () %程度	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

2	Q8	FAMT	飲食店、ホテル・旅館、航空運賃など、繁忙期・時間帯と閑散期・時間帯とがあり、異なる料 金を設定している場合も少なくありません。あなたが、混雑する時期や時間帯にこれらサービス を利用しようとしている時、何%程度の料金差があれば利用する時期や時間帯を変えたいと 考えますか（逆に言えば、何%程度の価格差までならば混雑する時期・時間帯に利用しま すか）。（ ）に 数字 をお書きください。	
		1	飲食店の利用 () %程度	
		2	ホテル・旅館の宿泊 () %程度	
		3	航空運輸の利用 () %程度	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

2	Q9	FAMT	あなたは、家庭内での以下の仕事に、平日・休日を含む1日平均でどの程度の時間を充て ていますか。（ ）に 数字 をお書きください。（注：例えば30分の場合0.5、各活動の時 間がない場合0と記載してください。）	
		1	家事（料理、掃除、洗濯など） () 時間程度	
		2	買い物 () 時間程度	
		3	育児 () 時間程度	
		4	介護・看護 () 時間程度	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

1	Q10	SA	保育・介護などでは様々な外部のサービスの利用が可能になっていますが、あなたは、家族が育児や介護を行うのと外部サービスを利用するのとどちらが良いと思いますか。
		1	子供や被介護者のことを良く知っている家族が行うのが適当である
		2	専門の技能を持った職員がいる外部のサービスを利用するのが望ましい
		3	どちらとも言えない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

2	Q11	FAMT	将来、仮に消費税率が30%になったとした場合（あるいは一般に外部のサービス価格が30%上昇した場合）、以下のサービスへの支出額のうちの程度（%）を自家サービス生産に切り替えようと思いますか。（ ）に数字をお書きください。
		1	外食（ ）%程度を自宅での食事に切り替える
		2	クリーニング（ ）%程度を自宅での洗濯に切り替える
		3	理容・美容（ ）%程度を自宅で行うことにする
		4	保育（ ）%程度を家族で行うことにする

◆◆改ページ◆◆

■インターネットを通じた購入についてお伺いします。

回答条件 全員

1	Q12-1	SA	あなたは、インターネットで買い物（商品購入のほか音楽配信、電子書籍やデータの購入を含む）をすることがありますか。
		1	頻繁に購入する
		2	ときどき購入する
		3	ほとんど購入しない
		4	全く購入しない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 Q12-1=1,2

1	Q12-2	SA	インターネットを通じた購買金額は、あなたの消費支出全体（家賃を含む）のうちおよそ何%程度ですか。
		1	5%未満
		2	5%以上10%未満
		3	10%以上20%未満
		4	20%以上30%未満
		5	30%以上40%未満
		6	40%以上50%未満
		7	50%以上

◆◆改ページ◆◆

■シェアリング・サービス（民泊、ライドシェア）についてのお考えをお伺いします。

（注：「民泊」とは、一般の住宅に有料で旅行者を宿泊させるサービスで、欧米でインターネットを活用する形での普及が進んでいます。

「ライドシェア」とは、自家用車を使って他人を有料で輸送（送迎）するタクシーに類似したサービスで、スマートフォンやインターネットを活用したサービスが、米国をはじめ多くの国で普及しています。）

回答条件 全員

1	Q13-1	SA	「民泊」についてご存知でしたか。
		1	良く知っている
		2	聞いたことはあるが良く知らない
		3	聞いたことがない

回答条件 全員

1	Q13-2	SA	「民泊」についてどう思いますか。
		1	宿泊者にとっての選択肢が増えるので望ましい
		2	住宅の安全性が損なわれたり、ホテルや旅館の営業に影響を及ぼしたりするおそれがあるため望ましくない
		3	どちらとも言えない／わからない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員

1	Q13-3	SA	「ライドシェア」についてご存知でしたか。
		1	良く知っている
		2	聞いたことはあるが良く知らない
		3	聞いたことがない

回答条件 全員

1	Q13-4	SA	「ライドシェア」についてどう思いますか。
		1	利用者にとっての選択肢が増え、便利になるので普及が望ましい
		2	安全性に疑問があり、また、タクシーなど公共交通機関の営業に影響を及ぼすおそれがあるため望ましくない
		3	どちらとも言えない／わからない

回答条件 全員			
1	Q13-5	SA	あなたは、自動車のドライバーとして「ライドシェア」サービスを提供することに関心があります
		1	ある
		2	ない
◆◆改ページ◆◆			

■ 人工知能（AI）やロボットの開発・普及の影響についてのお考えをお伺いします。

（注：「人工知能」とは、学習・推論など人間の知能に類似した機能を持つコンピュータ・システムで、急速に技術進歩が進んでおり、将来は、人間が行っている仕事の多くを行えるようになる可能性があるという見方もあります。）

回答条件 全員			
1	Q14-1	SA	「人工知能」についてご存知でしたか。
		1	良く知っている
		2	聞いたことはあるが良く知らない
		3	聞いたことがない

回答条件 全員			
1	Q14-2	SA	今後、人工知能やロボットの開発・普及が進むと予想されています。これらイノベーションがあなたの生活に及ぼす効果・影響についてどう思いますか。
		1	大きなプラスの影響がある
		2	プラスの影響がある
		3	どちらとも言えない
		4	マイナスの影響がある
		5	大きなマイナスの影響がある

回答条件 全員			
1	Q14-3	SA	人工知能やロボットが、将来のあなたの仕事に及ぼす影響をどう思いますか。
		1	仕事が失われるおそれがある
		2	仕事が失われるおそれはない
		3	わからない

回答条件 全員			
1	Q14-4	MA	以下に挙げる家庭内の仕事のうち、人工知能やロボットで代替できると良いと思うものはあり
		1	家事（料理、掃除、洗濯など）
		2	育児
		3	介護・看護
		4	買い物
		5	あてはまるものはない
			排他

回答条件 全員			
1	Q14-5	SA	人間の運転手がいらない自動運転によるタクシーやバスが実用化された場合、あなたは利用しようと思いますか。
		1	利用する
		2	利用しない
		3	わからない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員			
1	Q14-6	SA	ドローン（無人機）についてご存知でしたか。 （注：「ドローン」とは、小型の無人航空機で、すでに空撮などに利用されていますが、荷物の配送に用いる技術開発が急速に進んでいます。）
		1	良く知っている
		2	聞いたことはあるが良く知らない
		3	聞いたことがない

回答条件 全員			
1	Q14-7	SA	ドローン（無人機）による荷物の配送についての技術開発が進んでいますが、これが実用化されることについて、あなたはどう思いますか。
		1	効率的な配送や交通渋滞の緩和になるので望ましい
		2	安全性に疑問があるので望ましくない
		3	どちらとも言えない

回答条件 全員			
1	Q14-8	MA	以下のサービスのうち、ロボットではなく人間にやってもらわないと困ると思うものはありますか。
		1	保育サービス
		2	介護・看護サービス
		3	医療（病気や怪我の診断・治療）
		4	理容・美容サービス
		5	教育
		6	自動車の運転
		7	あてはまるものはない
			排他

◆◆改ページ◆◆

II. 経済政策と生活・消費についてお伺いします。

■以下の数値目標などが実現する確率がどの程度だと思いか、それぞれについて次の選択肢の中から選んで数字を記入してください。

回答条件 全員			
1	Q15-1	SA	政府は、2022年度までの平均で実質経済成長率2%程度という目標を掲げています。実際に平均2%以上の経済成長が実現する確率は何%程度だと思いますか。
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない
回答条件 全員			
1	Q15-2	SA	日本銀行は、消費者物価上昇率2%程度という目標を2018年度中に達成すると展望しています。実際にこれが実現する確率は何%程度だと思いますか。
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない
回答条件 全員			
1	Q15-3	SA	政府は、結婚・出産・子育てなどの環境整備を通じて、50年後にも1億人程度の人口を保持できると見込んでいます。実際にこれが実現する確率は何%程度だと思いますか。（注：「日本の将来推計人口」は、2060年の人口を8,674万人と推計しています。）
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない
回答条件 全員			
1	Q15-4	SA	政府は、2020年に外国人訪日者数を4,000万人にするという目標を掲げています（2015年実績1,974万人）が、これが実現する確率は何%程度だと思いますか。
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない
回答条件 全員			
1	Q15-5	SA	政府は、2020年に国・地方を合わせた基礎的財政収支（プライマリー・バランス）を黒字化するという目標を設定しています。実際にこれが実現する確率は何%程度だと思いますか。（注：基礎的財政収支とは、政府債務の利払い以外の支出と公債発行を除く収入の差で、2014年度は約20兆円（対GDP（国内総生産）4.1%）の赤字。）
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない

回答条件 全員			
1	Q15-6	SA	日本の政府債務残高（借金）はGDP（国内総生産）比で200%を超えており、ギリシアよりも高く、先進諸国の中で最も深刻な状況にあります。2030年までの間に日本の財政が破綻する確率は何%程度だと思いますか。
		1	10%未満
		2	10%以上25%未満
		3	25%以上50%未満
		4	50%
		5	51%以上75%未満
		6	75%以上90%未満
		7	90%以上
		8	わからない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員			
1	Q16-1	SAMT	(1)～(9)に挙げる様々な経済制度・政策について、それぞれの「(A) 先行きの不透明性」の程度を選択肢からお選びください。
			【質問項目】
		1	所得税
		2	消費税
		3	相続税・贈与税
		4	年金制度
		5	医療・医療保険制度
		6	介護保険制度
		7	保育制度
		8	雇用制度（労働者派遣制度、最低賃金制度など）
		9	個人情報保護制度
			【選択肢】
		1	非常に不透明感がある
		2	やや不透明感がある
		3	あまり不透明感はない

回答条件 全員			
1	Q16-2	SAMT	(1)～(9)に挙げる様々な経済制度・政策について、それぞれの「(B) それがあなただの生活（消費や就労）に及ぼす影響」の程度を、選択肢からお選びください。
			【質問項目】
		1	所得税
		2	消費税
		3	相続税・贈与税
		4	年金制度
		5	医療・医療保険制度
		6	介護保険制度
		7	保育制度
		8	雇用制度（労働者派遣制度、最低賃金制度など）
		9	個人情報保護制度
			【選択肢】
		1	非常に影響がある
		2	やや影響がある
		3	あまり影響がない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員			
1	Q17	SA	あなたがお感じになっている税制や社会保障制度の先行き不透明感は、あなたの消費行動に影響がありますか。
		1	消費を抑えている
		2	消費への影響はない

◆◆改ページ◆◆

■消費税および政府財政についてのお考えをお伺いします。

回答条件 全員			
1	Q18-1	SA	本年6月に消費税率の10%への引上げが2年半延期されることが決定しました。税率引上げの延期について、あなたはどのように評価しますか。
		1	賛成
		2	反対
		3	どちらとも言えない

回答条件 全員				
1	Q18-2	SA	2015年10月に予定されていた消費税率の2%上げは約1年前の2014年11月に先送りすることが決定されました。また、2017年4月に予定されていた上げはやはり1年近く前の2016年6月に先送りすることが決定されました。経済情勢への配慮と税率上げが実施されるかどうかの不確実性の関係についてどう考えますか。	
		1	税率上げの最終判断は早い時期に行い、先行きの不透明性を小さくする方が良い	
		2	経済情勢の変化を見極めるため、上げを行うかどうか不透明な時期が延びても、上げ実施にできるだけ近い時期に最終判断した方が良い	
		3	どちらとも言えない	

回答条件 全員				
1	Q18-3	SA	政府は2019年10月に消費税率を10%に上げることとしています。この上げ予定が再び延期される確率は何%程度あると思いますか。	
		1	10%未満	
		2	10%以上25%未満	
		3	25%以上50%未満	
		4	50%	
		5	51%以上75%未満	
		6	75%以上90%未満	
		7	90%以上	
		8	わからない	

回答条件 全員				
1	Q18-4	SA	飲食料品、新聞などに対して消費税の軽減税率を適用することについてどう思いますか。	
		1	低所得者対策として軽減税率は望ましい	
		2	低所得者対策は軽減税率以外の給付などによって行うことが望ましい	
		3	どちらとも言えない／わからない	

回答条件 全員				
1	Q18-5	SA	GDP（国内総生産）比で200%を超える日本の政府債務残高を縮小し、将来にわたって財政破綻を避けるためには、消費税率を最終的に何%程度に上げる必要があると思いますか。社会保障給付などの財政支出は現行制度のままとした場合について御回答下さい。	
		1	8%（引き上げなくても良い）	
		2	10%	
		3	11～20%	
		4	21～30%	
		5	31～40%	
		6	41～50%	
		7	50%超	
		8	わからない	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員				
1	Q19	SA	政府財政を健全化するとともに社会保障制度を長期にわたって持続可能にするための手段として、どのような方法に重点を置くべきだと思いますか。	
		1	社会保障給付の削減	
		2	社会保険料の引上げ	
		3	税負担の引上げ	
		4	わからない	

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員				
1	Q20	SA	政府は東京一極集中を是正し、地方創生を図る政策に取り組んでいます。人口や経済活動の大都市集中・地方分散についてあなたの考えに近いものはどれですか。	
		1	人口や経済活動の大都市集中は望ましくなく、地方分散を進めることが望ましい	
		2	日本全体の人口が減少していく中、大都市の集積を維持・向上することが望ましい	
		3	どちらとも言えない／わからない	

◆◆改ページ◆◆

■エビデンス（科学的根拠）に基づく政策についてのお考えをお伺いします。

（注：「エビデンスに基づく政策」とは、政策目的を実現するために有効な政策手段の選択や予算の配分を、統計データや実証分析に基づいて決定するもので、欧米先進国で導入・普及が進みつつあります。）

回答条件 全員				
1	Q21-1	SA	エビデンスに基づく政策形成についてご存じでしたか。	
		1	良く知っている	
		2	聞いたことはあるが良く知らない	
		3	聞いたことがない	

回答条件 全員			
1	Q21-2	SA	エビデンスに基づく政策形成が必要だと思いますか。
		1	必要だと思う
		2	ある程度必要だと思う
		3	あまり必要ではないと思う
		4	全く必要ではないと思う
		5	何とも言えない／わからない

回答条件 全員			
1	Q21-3	SA	日本の政策現場において、政策の企画・立案に当たり、エビデンスに基づく政策形成が意識されていると思われますか。
		1	意識されていると思う
		2	ある程度意識されていると思う
		3	あまり意識されていないと思う
		4	全く意識されていないと思う
		5	何とも言えない／わからない

回答条件 全員			
1	Q21-4	SA	日本でエビデンスに基づく政策形成が、現実にとどの程度行われていると思われますか。
		1	行われていると思う
		2	ある程度行われていると思う
		3	あまり行われていないと思う
		4	全く行われていないと思う
		5	何とも言えない／わからない

回答条件 全員			
1	Q21-5	MA	エビデンスに基づく政策形成を妨げるものは何だと思いますか
		1	政策現場は日常業務が忙しく時間がないこと
		2	政策現場にそのような慣行や組織風土がないこと
		3	政策がエビデンスと関係なく政治的に決まること
		4	統計データの解析や研究を理解する能力が政策現場に不足していること
		5	そもそも政策形成に役立つデータや調査研究が少ないこと
		6	その他（FA）

◆◆改ページ◆◆

Ⅲ. あなたご自身についてお伺いします。

回答条件 全員			
1	Q22-1	SA	現在、配偶者はいらっしゃいますか。
		1	いる
		2	いない

回答条件 全員			
1	Q22-2	SA	世帯主との続柄は、以下のうちどれに当たりますか。
		1	世帯主
	Q22-1 = ② 非表示	2	世帯主の配偶者
		3	世帯主の子
	Q22-1 = ② 非表示	4	子の配偶者
		5	世帯主の孫
		6	世帯主の父母
		7	世帯主の配偶者の父母
		8	その他（FA）

非表示を削除。

回答条件 全員			
1	Q22-3	SA	あなたの世帯人数（ご自身を含む）は何人ですか。
		1	1人（単身）
		2	2人
		3	3人
		4	4人
		5	5人
		6	6人以上

◆◆改ページ◆◆

回答条件 (Q22-3 = 2, 3, 4, 5, 6 限定質問)			
1	Q22-4	SAMT	あなたには同居しているお子様がいらっしゃいますか。
			【質問項目】
		1	高校生以上の子供
		2	中学校・小学校の子供
		3	小学校就学前の子供
			【選択肢】
		1	いる
		2	いない

回答条件 (Q22-3 = 2, 3, 4, 5, 6 限定質問)			
1	Q22-5	SA	あなたには同居している要介護者がいらっしゃいますか。
		1	いる
		2	いない

◆◆改ページ◆◆

回答条件 全員			
1	Q22-6	SA	あなたの最終学歴は、次のうちどれですか。在学中の方は、現在在学中の学校についてお選びください。
		1	小学校・中学校
		2	高校・旧制中学
		3	専門学校
		4	短大・高専
		5	大学
		6	大学院（修士課程）
		7	大学院（博士課程）
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 (Q22-6 = 5, 6, 7 限定質問)			
1	Q22-7	SA	大学・大学院での専攻は、理科系・文科系のいずれですか。
		1	理科系
		2	文科系
		3	どちらともいえない
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 全員			
1	Q22-8	SA	現在、あなたは収入のある仕事をしていますか。
		1	している
		2	していない
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-9	SA	あなたの就労形態は、次のうちどれに当たりますか。
		1	会社などの役員
		2	自営業主
		3	自営業の手伝い
		4	正社員・正職員
		5	パートタイム
		6	アルバイト
		7	派遣社員
		8	契約社員
		9	嘱託
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-10	SA	お勤め先の業種は、次のうちどれに当たりますか。
		1	農林水産業
		2	建設業
		3	製造業
		4	情報通信業
		5	運輸業
		6	卸売・小売業
		7	金融・保険業
		8	不動産業
		9	飲食・宿泊業
		10	医療・福祉
		11	教育
		12	サービス業
		13	公務
		14	その他(FA)
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-11	SA	あなたの職種は、次のうちどれに当たりますか。
		1	管理職
		2	専門職
		3	営業職
		4	事務職
		5	生産工程の職種
		6	サービス職
		7	その他
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-12	SA	あなたの通常の1週間の就労時間（残業を含む）は、以下のどれに当たりますか。
		1	19時間以下
		2	20～29時間
		3	30～34時間
		4	35～42時間
		5	43～45時間
		6	46～48時間
		7	49～59時間
		8	60時間以上

回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-13	SA	通常のあなたの一週間の就労日数は何日ですか。
		1	7日
		2	6日
		3	5日
		4	4日以下
		5	不定期・その他
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-14	SA	週5日以上就労されている場合、通常何曜日がお休みですか。
		1	土曜日と日曜日
		2	日曜日
		3	土曜日
		4	土・日以外の特定の曜日
		5	特定の曜日に定まっていない
		6	休日はない
		7	その他 (FA)
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 全員			
1	Q22-15	SA	通勤・通学されている場合、あなたの1日の通勤・通学時間は往復でどの程度ですか。
		1	30分未満
		2	30分以上1時間未満
		3	1時間以上1時間30分未満
		4	1時間30分以上～2時間未満
		5	2時間以上2時間半未満
		6	2時間半以上3時間未満
		7	3時間以上
		8	通勤・通学していない
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 (Q22-8 = 1 限定質問)			
1	Q22-16	SA	現在のお仕事からの年間収入 (税込み) は、以下のうちどれに当たりますか。
		1	50万円未満
		2	50～99万円
		3	100～149万円
		4	150～199万円
		5	200～249万円
		6	250～299万円
		7	300～399万円
		8	400～499万円
		9	500～599万円
		10	600～699万円
		11	700～799万円
		12	800～899万円
		13	900～999万円
		14	1000～1249万円
		15	1250～1499万円
		16	1500万円以上
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 全員			
1	Q22-17	SA	あなたの世帯全体の年間収入 (税込み) は、以下のうちどれに当たりますか。
			Q22-17 ≥ Q22-16
		1	100万円未満
		2	100～199万円
		3	200～299万円
		4	300～399万円
		5	400～499万円
		6	500～599万円
		7	600～699万円
		8	700～799万円
		9	800～899万円
		10	900～999万円
		11	1000～1249万円
		12	1250～1499万円
		13	1500～1999万円
		14	2000万円以上
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 全員			
1	Q22-18	SA	あなたのお住まいは、次のうちどれに当たりますか。
		1	持家
		2	借家 (賃貸)
		3	その他
回答条件 全員			
1	Q22-19	FA	現在居住している都道府県に、今まで何年間続けてお住まいですか。() に数字をお書きください。
			約 () 年

回答条件 全員			
1	Q22-20	SA	現在居住している都道府県は、ご出身の都道府県と同じですか。
		1	同じ
		2	異なる
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 (Q22-20 = 2 限定質問)			
1	Q22-21	MA	現在居住している都道府県がご出身の都道府県と異なる場合、居住地が変わった主な理由は何でしたか。
		1	就学
		2	就職・転職
		3	企業・組織内での人事異動
		4	結婚
		5	家族（親・配偶者）の転勤
		6	その他(FA)
◆◆改ページ◆◆			
回答条件 全員			
1	Q22-22	SA	あなたは自家用車をお持ちですか。
		1	自分自身で車を持っている
		2	同居家族が持っている
		3	持っていない
回答条件 全員			
1	Q22-23	SA	あなたは、仕事に関連する資格をお持ちですか。また、その資格は現在のお仕事に使っていらっしゃいますか。（注：普通運転免許（一種）を除く。）
		1	資格を持っており、現在の仕事で使っている
		2	資格を持っているが、現在の仕事では使っていない
		3	仕事に関連する資格は持っていない
回答条件 全員			
1	Q22-24	SA	あなたは、その資格を持っていないと業務を行うことが法令上できないような職業資格をお持ちですか。（注：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、弁護士、弁理士、公認会計士、税理士、建築士、理容師、美容師など。）
		1	資格を持っており、現在の仕事で使っている
		2	資格を持っているが、現在の仕事では使っていない
		3	そのような資格は持っていない